



成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2015～16年度会長 K.R. ラビンドラン

第 2695 回例会 平成 28 年 3 月 11 日(金)

- ◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 川島 利昭 会員
- ◇ お客様

第 9 分区ガバナー補佐 伊藤 仁 様 (白井ロータリークラブ)

◇ ニコニコボックス

平山 秀樹 会員：来る 3 月 19 日土曜日、午前 9 時 50 分より当ビューホテルにおいてモラロジー講習会を、成田モラロジー事務所が開催いたします。父、金吾は生前成田モラロジー事務所の代表をつとめておりました。金吾は常々「自分の人生はモラロジーとの出会いによって変わった」と申しておりました。この想いを伝えていきたいと願っております。講習会の案内をみなさまのレターボックスに入れさせてもらいました。お誘い合わせの上、ご参加いただければ幸いです。

◇ 会長挨拶 佐瀬 和年 会長

5 年前の今日、東日本大震災があった日です。

その年度の会長は、諸岡靖彦さんでした。移動例会が夕方から行われる日で、U-シティホテルへ向かう諸岡さんは白いヘルメット姿で、私の店の前をお通りになりました。『え！こんな日にも、例会に行くんだ！ ご自分の会社だって、大変な事になっているはずなのに！』びっくりしながら、私も諸岡さんの後をトボトボとついて行った記憶があります。「家系のしっかりした人は、自分の事よりも人様の事を優先して、行動されるんだな」と感心させられながら歩きました。もちろん例会は出来ません。



今日はこの後、グループディスカッションが行われます。

成田ロータリークラブ活動計画の 12 頁「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」に掲げられております、言葉に着眼して戴きつつお話し合い戴きたいと願います。

「近年のロータリーは単に奉仕する団体となり、奉仕する心を育む人の集まりでなくなっていることが懸念されるのです。今後ロータリーが生き残りをかけるには、例会を充実させて、ロータリーが人を作り、世のお役に立つという原点回帰（社会奉仕に関する 1923 年の声明）を強く推進しなければならないと言われております。つまり、ロータリーの哲学を学び、それを日々実践することであります。」

◇ 医療情報 橋 昌孝 会員

先々週のインフルエンザ患者数は972名、先週は948名とほとんど減っておりません。しかし、今日の午前中、100人くらいの患者さんを診察いたしました。その中で二人がB型に感染しておりました。皆様、まだ油断なさないようにしてください。

◇ 第9分区ガバナー補佐 伊藤 仁 様（白井ロータリークラブ）よりお願い

本日はお願いに参りました。次年度ガバナー補佐エレクトの件です。ガバナー補佐に対する現在の櫻木ガバナーの考え方は、現在各分区ともクラブが輪番制でガバナー補佐を受けているという状況がほとんどですが、ガバナーエレクトの時からそれが本当に公平かという意見をお持ちでした。人数が多いクラブと少ないクラブとの公平感。まだ結果が出ておりませんが協議されています。ガバナーの意図するところは、人数の多いところは回数を多くやる方が公平なのではないかと言いたいのではないかと私は汲み取っておりました。今回、当クラブで次年度ガバナー補佐エレクト選出に当たりまして、富里ロータリークラブの会長さんからは、私が就任した時から「できれば次にお願いできないか」と相談されておりました。輪番制では一回飛んでしまいますが、ガバナーの考え方もありますし、そういうふうに進められないでしょうか。ロータリーの友情に免じまして、再議をはかっていたらご検討だけでもしていただければと思います。本日お伺いした次第です。貴重なお時間、ありがとうございました。



◇ 幹事報告 深堀 伸之 幹事

《回覧》

- ・週報 成田コスモポリタンロータリークラブ
- ・例会変更 白井、富里ロータリークラブ
- ・千葉ロータリークラブより、事務局 FAX 番号変更のお知らせ
千葉 RC 事務局 FAX
(旧) 043-245-7520 → (新) 043-245-3207 ※3月10日より変更
- ・2016 ソウル国際大会日本人朝食会中止のお知らせ
- ・野球リーグ傘下のご案内
- ・かものはしプロジェクト

◇ 第2回クラブ研修セミナー

「成田ロータリークラブの未来」

【Aチーム】

D L 石川 憲弘 /サブDL 佐瀬 和年 諸岡 靖彦(記録)

参加者 豊田 磐、近藤 博貴、小宮山四郎、佐久間高直、角田 幸弘、長原 正夫
吉田 稔、八田 光男、杉浦 健
ガバナー補佐 伊藤 仁 (白井)

1. 会員数と構成

- ・大きすぎてもどうかと思うが、職業分類が多岐になっているのでその分多くても良い。

- ・ 入会 5 年になるが、事業を進めるには 60 名以上がよい。今の状態で多いとも少ないとも思わないので、今の数が適正だ。財政上も 40 名では活動が困難になる、60 名は適正だ。更に 5 名増やすのは荒っぽい。質が伴わない増強には慎重であるべきだ。
- ・ ベテランと入会歴の浅い会員が多くて、中間層が薄い。新しい会員同士の交流が少ない。

2. 充実した例会とは

- ・ 例会は時間配分もよく、旨くできている。外部卓話の時間キープと、ニコニコが長くならないようにプログラムの運用があればよい。挨拶を交すこと。座席の籤引きは新しい会員と知り合えるチャンスで有効だ。会員卓話を充実させたい。30 分の長い卓話より、テーブルごとにミニ卓話でやれば双方向になって、知り合いが増える。テーマを決めて発表するやり方もある。食事にバラエティを富ませると例会に来る楽しみが増える。

3. 親睦と親睦行事

- ・ 趣味の同好会ができたが棲み分けが難しい。例会を通じて知合うことと、ホームミーティングのような少数で親密な会合も良い。奉仕活動で達成感を味わうことが最高の親睦だ。

4. 奉仕のあり方

- ・ 社会奉仕は難しい、これで良いという奉仕の妙案は無い。
- ・ ロータリーは奉仕活動する団体だが、クラブの奉仕、個人の奉仕でも考え方は会員毎に違う。

5. 会員に満足を与えるとは

- ・ 研修委員長からの文書は当日渡された。決議 23-34 といっても意味が分からない。
- ・ 会員の満足は与えられるものでなく、自ら感じる、つかみ取るものだ。
- ・ 親睦例会や親睦旅行に家内を連れてゆくとロータリーに理解を持てるようだ。家族満足はロータリー活動の大事な部分だ。

6. 講評

- ・ 伊藤ガバナー補佐に参加していたことはラッキーであった。クラブ内だけでは限られた話で終始する。未来を語るには、外から見た切り口と視点が必要だ。全員が話題に参加することと、偏りの無い話が引きだせることが効果のある討議となる。

地区でも元気のあるクラブばかりではない。どうしたらクラブが明るく、活発にクラブが回り、奉仕活動が積極的に動いてゆくのか考えている。国際ロータリーの動きや、方向についての情報を知り、クラブの活動と重ね合わせる意見交流も必要だと思う。



【Bチーム】

D L 成田 温 /ガバ DL 松田 泰長 齊藤 三智夫(記録)

参加者 池内 富男、矢島 紀昭、高橋 晋、小柳 政和、川島 利昭

1) 会員数と構成

1) -1 成田クラブの適正会員数は

現在の会員数 63 名、通常例会出席 40~45 名という実情が適正ではないか。

クラブ運営に於いて会費、委員会活動等に焦点を合わせれば、20~30 人程度では厳

しい物があるのでは？又、逆に多すぎる会員数（例えば 80～90 人）というのも「？」であるのは否めないところです。

違った目線からの話しではありますが、「議論を交わす」となると 30 人前後が良いという意見も頂きました。

以下はあくまでも参考のお話です。

場所を提供しているホテル側の目線では 50 人強がベストという回答を頂きました。

1) - 2 一業種一人の考え方は

「一業種一人」という事に拘ることはないのでは？という意見が多数占めるのですが、一業種につき何名が？となると総会員数との割合によるものが難しすぎるという意見が多く、「業種に拘らず“人”を見極める事が大切では」という意見も頂く中、改めて奥の深いものであると認識しました。

2) 充実した例会とは

2) - 1 例会の時間配分は

会員卓話が予定されている時は、きちんと卓話の時間を抑えてほしい。

現行 30 分の時間を与えられる中、会員はそれなりの準備を整えて卓話に臨むので、「ニコニコが多い」「委員会報告が多い」といった進行で卓話の時間を押してしまうのは会員卓話を任された会員に失礼ではないかと。

2) - 2 会員同士の親睦を例会で深めるには

「例会で」となると食事の時間でもっと親睦がはかれるシステムを模索するディスカッションの中、新入会員が会員みんなと食事がとれる様、顧問の役割の中の一つとして充実化の徹底を図れたらという案を頂きました。

2) - 3 会員卓話のあり方は

基本的に会員卓話優先が良いのではという意見が多く、外部卓話についてはプラスアルファ的な捉え方でも良いのでは？

何度も会員卓話を繰り返すことによって会員同士の職業観や人となりなどの見識が深まって、親睦にも繋がる相乗効果を得られるのではという意見が出た中、ベストアンサーともいえる具体案が提言されました。

***例えば一人あたり持ち時間 10 分で 3 人に卓話をしていただく。**

様々な面から良い具体案ですね、と B 班では好評を博しました。

3) ロータリーの親睦と親睦行事

「これって同じ？」という疑問に対して明確な回答を頂きました。

ロータリーでは「親睦」とは通常例会を指し、「親睦行事」とは移動例会、夜間例会を指していて、ロータリーではこの二つは別の物という考え方である。

「入りて学び 出でて奉仕せよ」という言葉の中で、この中間に親睦行事が言葉として表現されてはいませんが、隠れているようにも思えました。

囲碁同好会を例に、初めての人からプロ級の人まで一緒に楽しめる。

何に於いても入り易い雰囲気作りが大事という意見を頂き、次のテーマへと繋がっ

て進行しました。

4) 奉仕のあり方

大きなテーマに添っての活動も良いのですが、「全員参加型」が奉仕のあり方として望ましく、小さな事の積み重ねが大事ではという意見に各会員共感致しました。

最たる例として、例会での食事メニューをカレーにして浮いたお金を東北の復興支援に加えた取り組みは正に全員参加であり、こういった取り組みをもっと増やせて、積み重ねていける方向性を大切にしたい。と。。。



【Cチーム】

D L 神崎 誠 /サブDL 石橋 菊太郎 佐藤 英雄(記録)

参加者 喜久川 登、橘 昌孝、角田 憲司、浅野 正博、小坂 裕巳

1. 会員数と構成

- ・人数は60名が適正ではないか。
- ・会員増強は入れてみたい人を進めてはどうか
- ・職業分類は魅力ある人なら1業種内多数の会員がいても良い
- ・ポール・ハリス以来の1業種・一会員が変わっていても良いのではないか
- ・R I、財団などは、現状とのズレが生じているのではないか

2. 充実した例会とは

- ・Plan・Do・CheckでCheckが無い
- ・例会は議論の場ではない、意見を交わす場である
- ・年次プランは後出が多い
- ・顧問制度の長短について議論すべきである

※Cチームは議論が白熱し、2項目目で時間いっぱいとなりました。



【Dチーム】

D L 堀口 路加 /設楽 正行(記録)

参加者 村嶋 隆美、菊地 貴、甲田 直弘、大木 健弥、高橋 正、飯田 正雄
大塚 洋、深堀 伸之、本宮 昌則、深堀 伸之

1. 会員数と構成

- ・地域への影響力を考えた時、最低でも50人以上必要なので現状が良い
- ・成田の経済的な潜在力から考えると、70~80人いても良いかな
- ・空港、参道、転勤関係のバランスからいって50から60人が適正
- ・親睦から考えて本当に親しくなれるのは30人位、しかし委員会構成を考えると現状が良いのかなと思う。
- ・色々な業界の方と知り合えるからこそそのロータリーだから1業種1人にこだわりたい

2. 充実した例会とは

- ・例会前に食事を取るにより、その間、色々コミュニケーションが取れる

- ・昼、出にくい方もいるから夜間例会を希望します。終了即解散のスタイルで
- ・一月1回会員同士自由な話ができる例会はいかがか。(雑談例会とでもいう)
- ・最近外部卓話が少ない。例えば国家的活動—政治、国防、経済など聞きたい
- ・内部卓話でも異業種の話は興味があるので良いのでは

3. ロータリーの親睦と親睦行事

- ・異業種の方とロータリーの活動(委員会活動や研修会など)を通じ親睦が深まるのが楽しい
- ・季節、季節に行われる親睦行事は今のペースがちょうどよい
- ・何といても酒を酌み交わすことでより深い親睦が図れる
- ・親睦行事で一番は旅行だと思うが、一泊にすれば更に多くの参加があるだろう

4. 奉仕のあり方

- ・職業奉仕を極めることが第一である。その中で倫理観を持って、一生懸命仕事をし、得た利益を社員、取引先と分かち合い、さらに社会へと還元していくことが根本だ
- ・国際奉仕は財団、米山への金銭的寄付で貢献すれば十分
- ・クラブ奉仕を大事にすれば楽しい例会に通じ、出席が多くなるだろう
- ・社会奉仕はその事業が真に必要なよく考えなければならない
- ・次世代を育てる青少年奉仕も重要です

5. 会員に満足を与えるとは

- ・異業種交流に意義があり自分と違った角度の卓話を聞くことは大変うれしい
- ・自分だけの狭い世界とは異なる情報が得られる満足感を味わおう
- ・責任あるポジションを与えられ結果としての達成感が満足感につながる



◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
63	62	42	20	67.74%	74.19%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
堀口 路加 会員	2月17日	浜松西ロータリークラブ
佐瀬 和年、石橋 菊太郎、設楽 正行、矢島 紀昭、神崎 誠 佐藤 英雄、吉田 稔、後藤 敦 各会員	2月24日	55周年打ち合わせ
池内 富男、小川 賢、日暮 俊久、仲村 盛政 小寺 真澄、堀口 路加 各会員	3月1日	囲碁同好会
角田 憲司、角田 幸弘、日暮 俊久、平野 省二 沢田 喜信、本宮 昌則 各会員	3月10日	クラブ会報委員会
石川 憲弘、吉田 稔、高橋 晋、高橋 正 近藤 博貴、矢島 紀昭、神崎 誠、小宮山 四郎 成田 温、長原 正夫、齊藤三智夫 各会員	3月14日	次年度委員会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078